

プラチナムガードSD効果テスト

2023/2/27

日時	2023年2月27日 月曜日 11:00~14:30
検査場所	東京都目黒区の高級スポーツジム
検査薬	プラチナムガードSD 4倍希釈液
検査機器	ハイジーナ製 迅速菌検査測定用 高感度ルミノメータ EnSURE
検査試薬	ハイジーナ製 UltraSnap ATPふき取り検査用試薬

【検査方法】

1. 不特定多数の方が触れる場所を想定 【①ストレッチマット(表面) ②バーベル(グリップ/スチール)
③プルダウン(グリップ/ラバー) ④レッグ・エクステンション(座面/レザービニール)
⑤クロストレーナー(グリップ/ラバー) ⑥脱衣室のリクライニングチェア(背面/布生地)】
2. 各対象箇所を試薬で採取し検査機で検査
3. 各対象箇所にプラチナ除菌水(仮)を噴霧及び拭き取りし、30分後に再度同じ箇所を採取し検査
4. 各対象箇所の片側に菌塗布(乳酸菌等、他多種菌)で菌を付着 (*菌:乳酸菌等多種菌配合したオリジナル菌)
5. 120分後 菌非付着側と菌塗布側を採取し検査

*ATPとは

すべての動植物の細胞内に存在するエネルギーで、食物・細菌・カビやその他微生物にもATPが含まれています。このATP値が高いという事は、菌が繁殖しやすい環境だということです。

EnSUREはSystemSURE PLUSの感度を約2倍にしたアップグレードモデルです。

Microsnapの測定により適しています。

SupersnapでのATP検査を行えば、標準のSystemSURE PLUS/Ultrasnapの組み合わせに比べて約10倍感度での検査が可能です。

医薬品・化粧品製造工程など、より高い清浄度の求められるポイントでの検査に推奨されています。



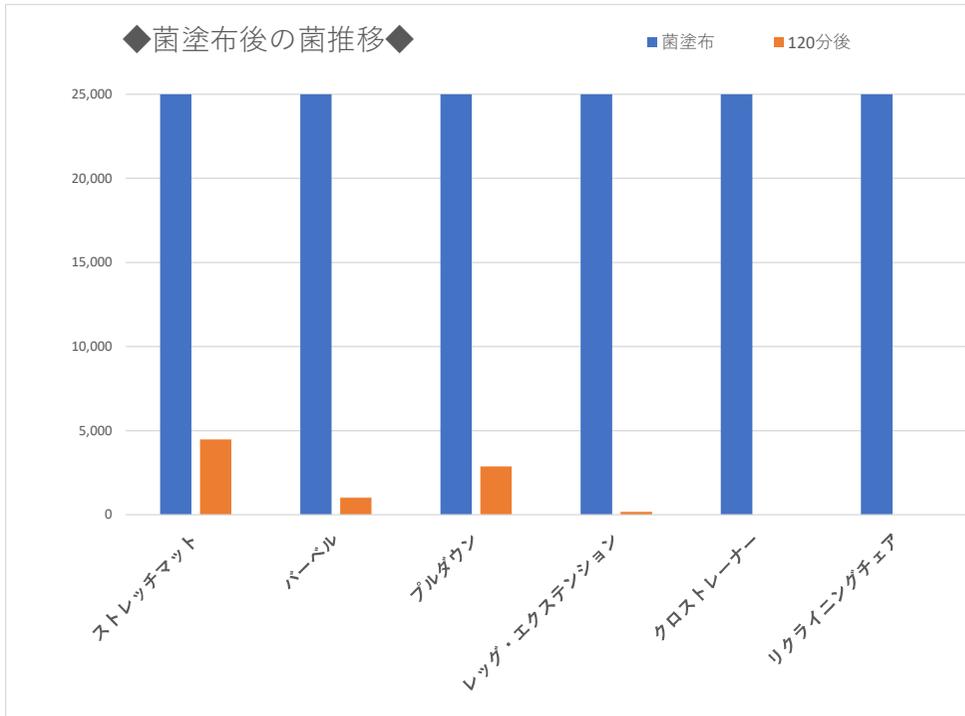
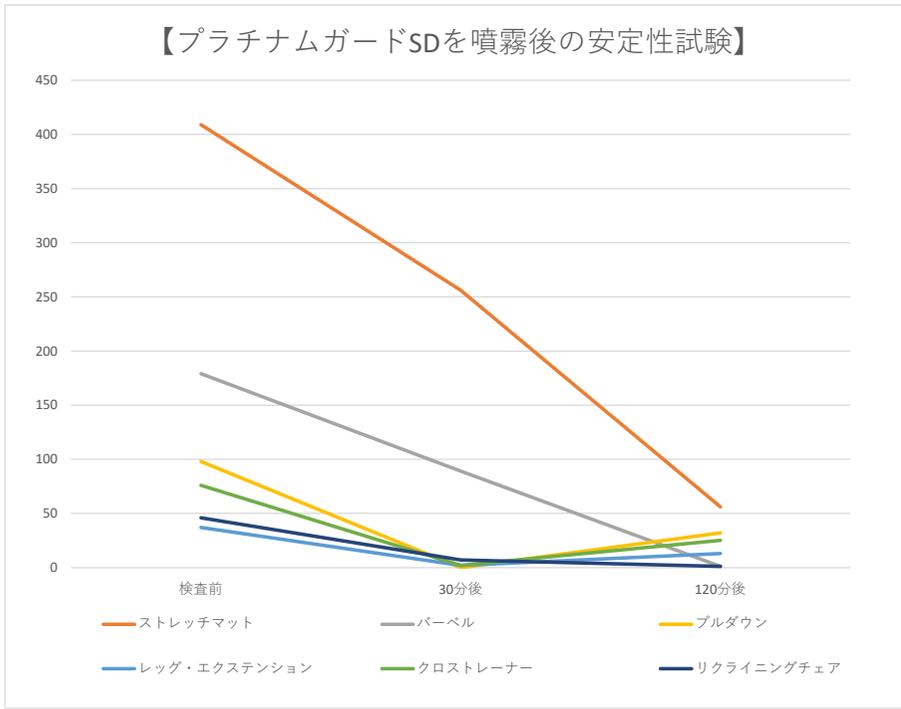
今回使用したキット・菌(数値)



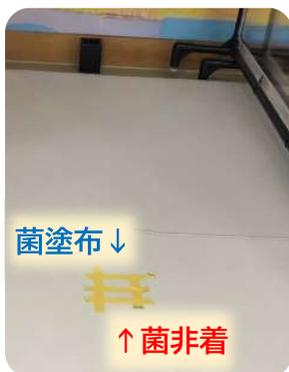
安定性試験結果一覧

No	1.検査対象箇所	2.検査前	3.本剤噴霧後 (30分後)	5.本剤噴射後 (120分後)	4.菌塗布	5.噴霧後 120分
		ATP量	ATP量	ATP量	菌数	ATP量
1	ストレッチマット (表面/レザービニール)	409	256	56	33,160 (個) * 6,632 x 5回塗	4,471
2	バーベル (グリップ/スチール)	179	89	1		1,016
3	プルダウン (グリップ/ラバー)	98	0	32		2,864
4	レッグ・エクステンション (座面/レザービニール)	37	2	13		165
5	クロストレーナー (グリップ/ラバー)	76	2	25		1,364
6	リクライニングチェア (背面/布生地)	46	7	1		1,423

※ 塗布したスタンプ菌数は6,632x5回(係数)



安定性試験：ストレッチマット



【検証方法】

- ① マスキングテープで区切り、検査前数値を測定した後、プラチナムガードSDを噴霧し、拭き取った後放置する。
- ② 噴霧から30分後のATP量を測定する。
- ③ 検証部上側に菌塗布し、放置する。*下側は菌無しのまま検査
- ④ 菌有・なしの左右を噴霧から120分後のATP量を測定する。



↑触媒機能による数値低下が立証できました↑

安定性試験：バーベル



【検証方法】

- ① マスキングテープで区切り、検査前数値を測定した後、プラチナムガードSDを噴霧し、拭き取った後放置する。
- ② 噴霧から30分後のATP量を測定する。
- ③ 検証部左側に菌塗布し、放置する。*右側は菌無しのまま検査
- ④ 菌有・なしの左右を噴霧から120分後のATP量を測定する。



↑触媒機能による数値低下が立証できました↑

安定性試験：リクライニングチェア



【検証方法】



- ① マスキングテープで区切り、検査前数値を測定した後、プラチナムガードSDを噴霧し、拭き取った後放置する。
- ② 噴霧から30分後のATP量を測定する。
- ③ 検証部左側に菌塗布し、放置する。*右側は菌無しのまま検査
- ④ 菌有・なしの左右を噴霧から120分後のATP量を測定する。



①検査前に測定後、本剤を噴霧

30分後



②噴霧から 30分放置

85%DOWN ↓

120分後



④噴霧から120分放置

98%DOWN ↓

③チェア左側に
33,160個の菌を 120分後
塗布する



④菌塗布から120分放置

96%DOWN ↓

↑触媒機能による数値低下が立証できました↑